

降水量 (甲府地方気象台提供)

● 甲 府

降水量の推移 (mm)

年度	平成7年度	平成8年度	平成9年度	平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
年間降水量	871.5	814.0	1078.5	1381.0	1040.0	1605.0	1100.0	1082.5	1310.0	1647.5	878.5	1005.5	1054.0	1219.0	1026.5	1208.5

年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	平年値(年)
年間降水量	1544.5	876.0	1100.0	1072.0	1146.0	1046.0	1210.5	1014.5	1237.5	1434.0	1135.2

令和2年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
毎月の値	128.0	59.5	177.0	470.0	60.0	129.5	229.5	4.5	1.0	33.0	40.0	102.0
平年値(月)	77.7	86.3	122.5	132.6	149.5	180.3	125.2	54.9	32.1	40.2	46.1	87.9

● 河口湖

降水量の推移 (mm)

年度	平成7年度	平成8年度	平成9年度	平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
年間降水量	1282.5	1139.5	1444.5	1955.0	1560.0	1541.5	1796.0	1425.0	1726.0	2056.5	1253.5	1368.5	1365.5	1613.0	1528.0	1382.0

年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	平年値(年)
年間降水量	2082.0	1322.5	1582.5	1437.5	1672.0	1336.0	1766.0	1641.0	1994.0	1660.0	1568.1

令和2年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
毎月の値	175.0	73.0	182.0	526.0	35.0	121.5	280.0	12.0	2.0	45.0	58.5	150.0
平年値(月)	105.0	123.7	161.9	162.7	249.9	252.9	176.9	78.6	42.4	54.6	57.4	102.2

※平年値(月・年)：統計期間(1981～2010, 30年間)

富士五湖の湖盆形態

湖名	水面海拔高度(m)	面積(km ²)	容積(百万m ³)	最大深度(m)	平均深度(m)	流域面積(km ²)
山中湖	980.5	6.78	63.92	13.3	9.4	65.5
河口湖	830.5	5.70	53.01	14.6	9.3	126.4
西湖	900.0	2.12	80.85	71.7	38.5	33.0
精進湖	900.0	0.50	3.50	15.2	7.0	25.8
本栖湖	900.0	4.70	319.13	121.6	67.9	34.5

用語及び凡例

1 BOD（生物化学的酸素要求量）

BODとは、**Biochemical Oxygen Demand** の略称であり、有機物汚濁の指標として用いられている。

溶存酸素量（DO）が十分な水中で有機物が好気性微生物により分解されるときに消費される酸素の量で表し、この数値が大きいほど河川水は汚れていることになる。

2 COD（化学的酸素要求量）

CODとは、**Chemical Oxygen Demand** の略称であり、湖沼及び海域における有機物等の汚濁の指標として用いられている。

水中の有機物等を酸化剤で酸化するとき消費される酸化剤の量を酸素の量に換算して表し、この数値が大きいほど湖沼及び海域の水は汚れていることになる。

3 pH（水素イオン指数）

pHとは、水素イオン濃度の逆数の常用対数で表され、水の酸性、アルカリ性の度合いを表す指標として用いられている。

pHが7のときが中性、それより大きいときがアルカリ性、小さいときが酸性となる。

4 SS（浮遊物質）

SSとは、水中に浮遊又は懸濁している粒子径2mm以下の不溶性物質の量のこと、この数値が大きい場合は、①工場・事業場排水や生活排水の流入、②降雨や河川改修工事等による土砂等の流入、③プランクトンや藻類の増殖が原因であると考えられる。

5 DO（溶存酸素量）

DOとは、河川や湖沼の自浄作用、魚類等の生息に不可欠な水中に溶けている酸素の量のこと、その量は、水温や気圧などによっても影響されるが、有機物の流入により減少する。

6 大腸菌群数

大腸菌群数とは、大腸菌及び大腸菌と性質が似ている他の細菌がつくるコロニーの数で表し、し尿汚染の指標として用いられている。

7 ダイオキシン類

ポリ塩化ジベンゾーパラジオキシン（PCDDs）、ポリ塩化ジベンゾフラン（PCDFs）及びコプラナーポリ塩化ビフェニル（Co-PCBs）を「ダイオキシン類」という。ダイオキシン類は、条件により物の燃焼等の過程で非意図的に発生する。

ダイオキシン類には多くの種類があり、毒性の強さがそれぞれ異なっているため、ダイオキシン類としての全体の毒性を評価する際は、毒性の強さを換算した毒性等量（TEQ）を用いることとなっている。

8 「平均」とは、日間平均値の年間平均値であり、報告下限値未満の数値については、報告下限値の数値から平均値を算出した。

9 報告下限値未満の数値は、不等号又はNDで表示した。

10 外観、採取位置及び臭気コードは、次のとおりである。

○外観コード

コード			外観	コード			外観
淡（明）	中	濃（暗）		淡（明）	中	濃（暗）	
010	011	012	赤色	180	181	182	緑褐色
020	021	022	茶色	190	191	192	黒褐色
030	031	032	黄色	200	201	202	灰色
040	041	042	黄赤色	210	211	212	灰黄色
050	051	052	黄緑色	220	221	222	灰茶色
060	061	062	緑色	230	231	232	灰緑色
070	071	072	青緑色	240	241	242	灰青色
080	081	082	緑青色	250	251	252	灰黒色
090	091	092	青色	260	261	262	灰赤色
100	101	102	紺色	270	271	272	灰黄緑色
110	111	112	紫色	280	281	282	灰黄茶色
120	121	122	青紫色	290	291	292	灰紫色
130	131	132	赤紫色	300	301	302	灰青紫色
140	141	142	褐色	310	311	312	灰赤紫色
150	151	152	赤褐色	320	321	322	白色・乳白色
160	161	162	茶褐色	330	331	332	黒色
170	171	172	黄褐色				
001			無色	999			不明

○採取位置コード

コード	内容
河川	01 流心（中央）
	02 左岸
	03 右岸
	04 左岸・右岸混合
	05 左岸・流心・右岸混合
湖沼・ダム湖	11 上層（表層）
	12 中層
	13 下層
	14 上層・下層混合
	15 上層・中層混合
	16 中層・下層混合
	17 上層・中層・下層混合

○臭気コード

コード			内容	コード			内容
微	中	強		微	中	強	
11			無臭	221	222	223	フェノール臭
21	22	23	メロン臭	231	232	233	タール臭
31	32	33	スミレ臭	241	242	243	油（精油廃油）臭
41	42	43	キュウリ臭	251	252	253	硫化水素臭
51	52	53	樟脳臭	261	262	263	塩素（遊離塩素）臭
61	62	63	丁子臭	271	272	273	アンモニア臭
71	72	73	ラベンダー臭	281	282	283	ヨードホルム臭
81	82	83	レモン臭	291	292	293	洗剤臭
91	92	93	ニンニク臭	301	302	303	皮革臭
101	102	103	グラニウム臭	311	312	313	パルプ臭
111	112	113	バニラ臭	321	322	323	金気臭
121	122	123	青草臭	331	332	333	金属臭
131	132	133	木材臭	341	342	343	ちゅうかい臭
141	142	143	川藻臭	351	352	353	魚腐敗臭
151	152	153	海藻臭	361	362	363	動物腐敗臭
161	162	163	土臭	371	372	373	し尿、ふん尿臭
171	172	173	沼沢臭	381	382	383	下水臭
181	182	183	カビ臭	391	392	393	青物臭
191	192	193	魚臭	401	402	403	デンプン臭
201	202	203	肝油臭	501	502	503	その他
211	212	213	貝（はまぐり）類臭				